

このような、「教育課程の展開に寄与し、学習指導の効率化をめざす」学習センター的性格を有する学校図書館の活動は、本県においても、ますます関心がもたれ、その効果も大いに上がってきている現状である。

特に、読書による、豊かな人間形成に資する学校図書館教育の重要性については、ますます強調され、各学校においても、読書指導を重視して指導にあたっている。

それは、学校図書館協議会主催の読書感想文コンクールの応募数の多いことをみてもわかる。

なお、学校図書館の施設・設備や各種資料の整備・充実度、その組織や活用度については、漸次向上しつつあるものの、やはり地域差、学校差がみられるので、この点についてはじゅうぶん検討しなければならない問題点である。

また、いわゆる「学校司書」の公費化については、司書教諭の取り扱いとともに、国でも検討を進めており、学校図書館協議会でも、その身分の保障や待遇の改善をめざして強力な運動を展開して来た。県においても、司書手当の一部として、補助金が数校ずつ逐次配分されるようになっているが、さらにこの面の施策の促進が望まれる。

2 学校図書館研究協議会

(1) 目的

小学校、中学校及び高等学校の学校図書館運営に関する諸問題について研究協議し、教育課程の効果的な実施に資する。

(2) 主 催 文部省

(3) 期 間 昭和43年12月12日(木)、13日(金)

(4) 会 場 国立教育会館

(5) 本県からの参加者

小学校部会

猪苗代町立猪苗代小学校長 佐藤 稔

中学校部会

猪苗代町立猪苗代中学校長 佐藤 勝

福島県教育庁北会津教育事務所指導主事 円山 正衛

高等学校部会

福島県立猪苗代高等学校長 藤井 勇

3 第19回福島県学校図書館研究大会

(1) 研究主題

「教育課程の中で、学校図書館をどのように役だたせるか。」

「人間形成のための読書指導は、どのようにすればよいのか。」

(2) 主 催

福島県教育委員会 須賀川市教育委員会

福島県学校図書館協議会

(3) 期 日 昭和43年10月30日

(4) 会 場

須賀川市立第三小学校

須賀川市立第三中学校

(5) 分科会ならびに司会者、助言者、発表者

◇第一分科会
・テーマ 「教科指導に直結する学校図書館の効果的な利

用について」

- ・司会者 宗像 竜雄（須賀川二小）
- ・助言者 田崎 富雄（岩瀬教育事務所指導主事）
鈴木 信男（津島小）
- ・発表者 大竹 裕（安子島小）
猪狩 俊夫（湯本一中）

◇第二分科会

- ・テーマ 「学校図書館の効果的な運営のための組織と係り職員の活動について」
- ・司会者 横田子之二（川東小）
- ・助言者 佐久間 重（山戸田小）
- ・発表者 大越智恵子（坂下小）
平林 鮎聖（伊達中）

◇第三分科会

- ・テーマ 「図書及び図書以外の資料整理上の諸問題について」
- ・司会者 佐藤 秀夫（天栄中）
- ・助言者 吉田 直義（矢吹中）
下山 政一（荒井小）
- ・発表者 田野入重徳（八幡小）
芳賀 甲（若松二中）

◇第四分科会

- ・テーマ 「読書指導の計画とその具体的方法について」
- ・司会者 佐藤 セイ（西袋中）
- ・助言者 水戸亥三郎（岩瀬教育事務所指導主事）
大滝 真永（沢田中）
- ・発表者 小沢 次夫（余目小）
八代喜代子（白河中央中）

(6) 講 師

全体指導 福島県教育庁指導主事 宇田 哲雄
記念講演 「学校教育と学校図書館」
東京大学助教授 裏田 武夫

第12節 教育研究団体

I 福島県小学校教育研究会

(1) 財政及び組織の状況

役職名	氏 名	在勤校	会員数	昭和43年度決算額	左の内県費補助額
会 長	沼崎 忠蔵	福島一小			
副会長	村上 四郎	保原 小			
〃	伊藤 竹雄	橘 小			
〃	滝川誠五郎	行仁 小			
〃	西牧 清富	小名浜一小			
監 事	鈴木 義雄	田島 小			
〃	渡辺 明孝	須賀川二小			
〃	吉田 基	請戸 小			
理 事	八島 証	桜丘 小			
〃	高田 進	清水 小			
〃	菅野 忠雄	松川 小			
〃	富塚 終吉	吉井田 小			
〃	鈴木 正孝	福島三小			
〃	堀内 鉄雄	行健 小			
〃	油井 シゲ	箱崎 小			
〃	伊藤 良策	金谷川 小			
〃	阿曾 佐重	三河台小			